

学校教育目標		主体的に学び続け、共に伸びる子どもの育成		経営理念 ミッション・ビジョン・バリュー		【ミッション・ビジョン】自ら考え、判断し、行動できる「自律」した力を持った人材の育成 【バリュー】失敗こそ学びであるとの認識を持ち、心理的安全性を確保し、自己肯定感を育成する。 自らを俯瞰的・客観的に見ることのできるメタ認知能力を育成する。					
評価計画				自己評価				学校関係者評価		改善方策	
	中期経営目標	短期経営目標 (子供の姿)	目標達成のための方策 (こんなことをして達成します。)	評価項目・指標 (効果をみとる目安)	目標 値	達成 値	達成度	評価	結果と分析	コメント	改善方策
確かな学力	主体的な学びを実現する。	意欲的に問題に取り組む。	◎主体的な学びの推進 ・既習学習を使って課題解決に向かうとともに、仲間と一緒に考えを練り合いながら、自ら授業を作っていく姿勢を作る。 ・児童自らが興味・関心及び課題に応じて学習したいことを決めて取り組む場面を設定する。	・児童アンケートにおいて、「これまで学習したことをもとに、友だちと考えを出し合いながら学習している。」の肯定的評価の割合 ・児童アンケートにおいて、「自分から進んで学習に取り組もうとしている。」の肯定的評価の割合	85%						
		基礎学力を確実に定着させる。	◎基礎学力の確実な定着 ・授業で学んだことを、ドリルや家庭学習等で繰り返し取り組み、確実に基礎学力を付ける。 ・研究主題を念頭に入れた授業づくりを意識し、思考力・判断力・表現力を高める。	・算数科の単元末テストの達成率の学校平均 ・算数科の「思考・判断・表現」のテストの学校平均	85%						
豊かな心	あいさつあふれる学校づくりを推進する。	誰にでも進んであいさつができる。	◎挨拶の励行 ・あいさつ名人の取組を行う。 ・児童会のあいさつ運動を継続する。	・大きな声で相手を見てあいさつをする(レベル3)の児童の割合(児童、教職員評価)	80%						
健やかな体	健康な体づくりを推進する。	自分の体力の向上のために進んで運動する。	◎体力の向上 ・体育科の授業前にストレッチ(東野ストレッチ)を継続して取り組む。 ・外部講師を招聘し、水泳運動や走り方等の指導法の共通理解を図る。	・新体力テスト(走・柔軟)で、昨年度までの自分の得点を上回る児童の割合 *中間:昨年度と今年度の体力テスト *最終:昨年度の体力テストと2学期末	85%						
		基本的な生活習慣の改善をする。	◎基本的な生活習慣の確立 ・がんばり週間等で児童・保護者への啓発を行う。	・早寝(各学年の目標の時間までに寝ること)ができた児童の割合	75%						
信頼される学校	地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。	学校・家庭・地域のつながりを深める情報交流	◎信頼される学校づくり ・子供としっかり関わり、個に寄り添う。	・保護者アンケートにおいて、「安心して学校に行かすことができる」という項目の肯定的評価	95%						
			働き方改革の実現に向けた環境整備をする。	・ICTを活用した業務改善を年に5つ実施する。	・ICTを活用した業務改善の実施率	100%					

本年度の重点目標については◎印で示す【自己評価 評価】A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60